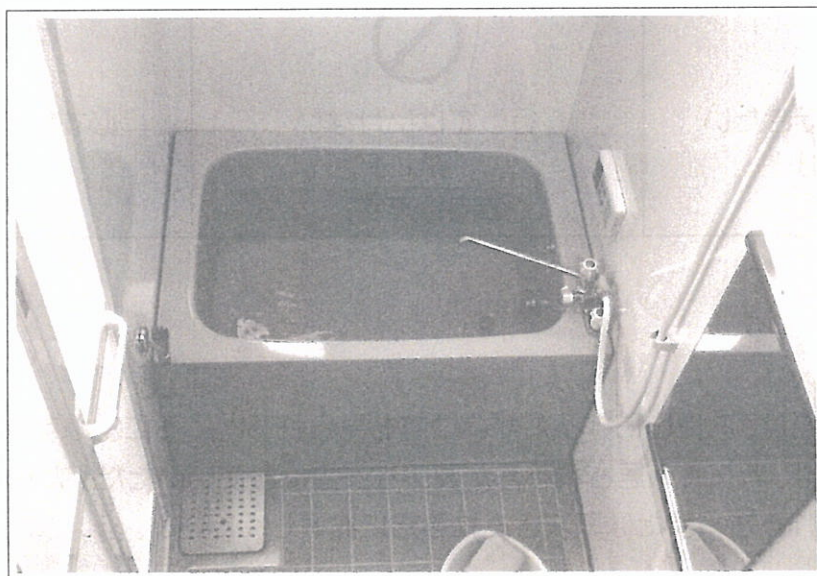
タカラ システムバス

取扱説明書（保証書付き）

広(ひ)ろ美(び)ろ浴室

このたびは「タカラシステムバス・広ろ美ろ浴室」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、水栓・その他オプション機器などの取扱説明書とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

お客様へ
『浴室ユニット廃棄時のお願い事項』

＊浴室ユニットを解体処分する場合には必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼頂くようお願い致します。
＊浴室ユニット廃棄部材の不法投棄等がありました場合は、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

もくじ

タカラスタンダード株式会社

1.安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
＝安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。＝

◎表示マークについて
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

◎絵表示について。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

気をつけていただきたい 「注意喚起」 の内容です。	行ってはいけない 「禁止」 の内容です。	必ず実行していただく 「強制」 の内容です。

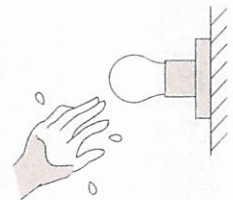
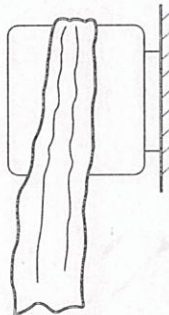
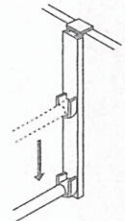
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。
※転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

安全上のご注意（つづき）

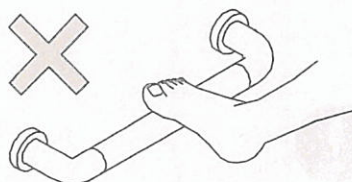
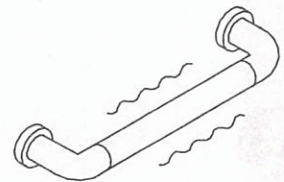
⚠警告

● 風呂ふたに乗ったり、体重をかけたりしないでください。
おぼれたり、ヤケドをするおそれがあります。

● ぬれた手で電球などを交換しないでください。
感電のおそれがあります。

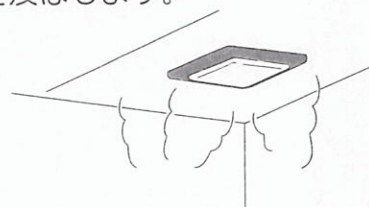
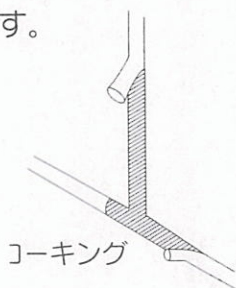
● 照明カバーをはずして使わないでください。
感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。

● 照明器具にタオルなどを、掛けないでください。
過熱して、火災になるおそれがあります。

● 乾燥運転時はランドリーパイプを下段にセットしてください。
衣類等が過熱して火災になるおそれがあります。

● 温水機器及び組込まれる電気機器などについては、それぞれの取扱説明書及び本体に表示されている事項をお守りください。
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

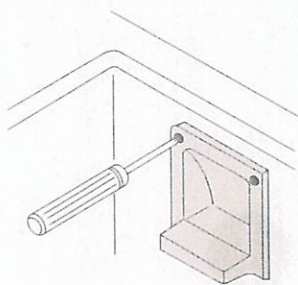
● 風呂釜をご使用の場合は、排水栓をきちんと排水口に押し込んでください。
水がもれていると、空だきとなり、火災のおそれがあります。

● ハンドバーに登ったり、ぶらさがったり、衝撃を与えたりしないでください。
はずれてケガをするおそれがあります。

● ハンドバーにゆるみやガタつきがないことを確かめてお使いください。
はずれてケガをするおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

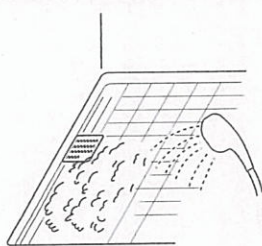
⚠注意

- **浴室内でシンナーなどの溶剤や薬品類を使用しないでください。**
  パッキン類や配管を傷め水もれの原因になったり、浴槽等が変色するおそれがあります。

- **浴室の点検口のフタは設備点検時以外には絶対にあけないでください。**
  フタがはずれてケガをしたり蒸気がもれ建物に悪影響を及ぼします。

- **壁パネルのコーキングが切れたり、浮いたまま使用しないでください。**
  水もれの原因になります。

- **排水鎖止め金具を無理にまわしたり引張ったりしないでください。**
  取付部がゆるんで水がもれるおそれがあります。

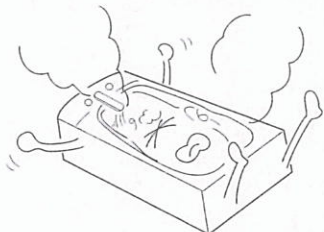
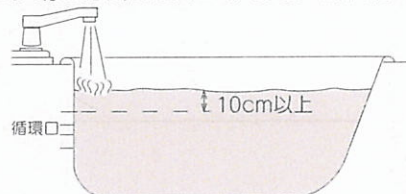
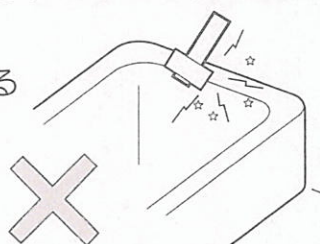
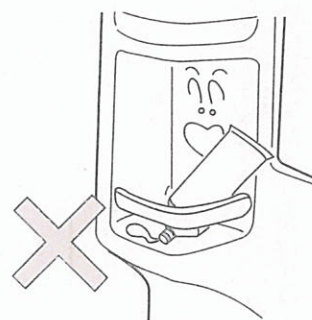
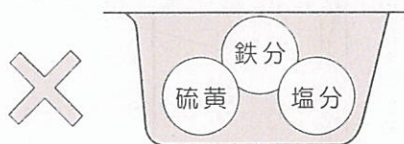
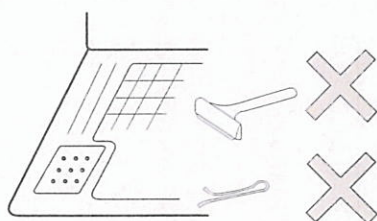
- **浴室の点検口をあけたり、収納ケースや付属部品をはずさないでください。**
  水もれの原因になるおそれがあります。

分解禁止

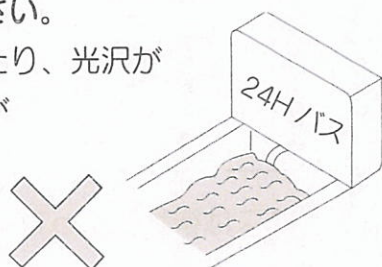
- **商品引き渡し後、器具の位置をかえたり、新しく取り付ける場合は、必ず弊社または販売店にご相談ください。**
  誤った取付けをすると、思わぬ事故や水もれの原因になります。

- **床が石けんや湯あかでぬれているときは、洗い流してください。**
  ころんでケガをする恐れがあります。

- **ふろ（浴槽）ふたを選ぶ場合は、浴槽の縁に十分かかる大きさのものを選んでください。**
  ふたがずれ落ちてヤケドをするおそれがあります。

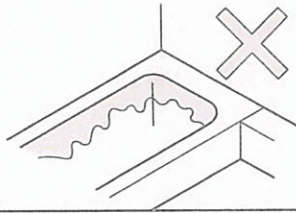
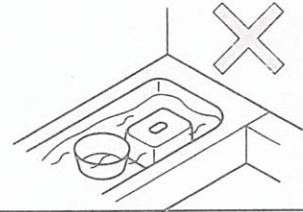
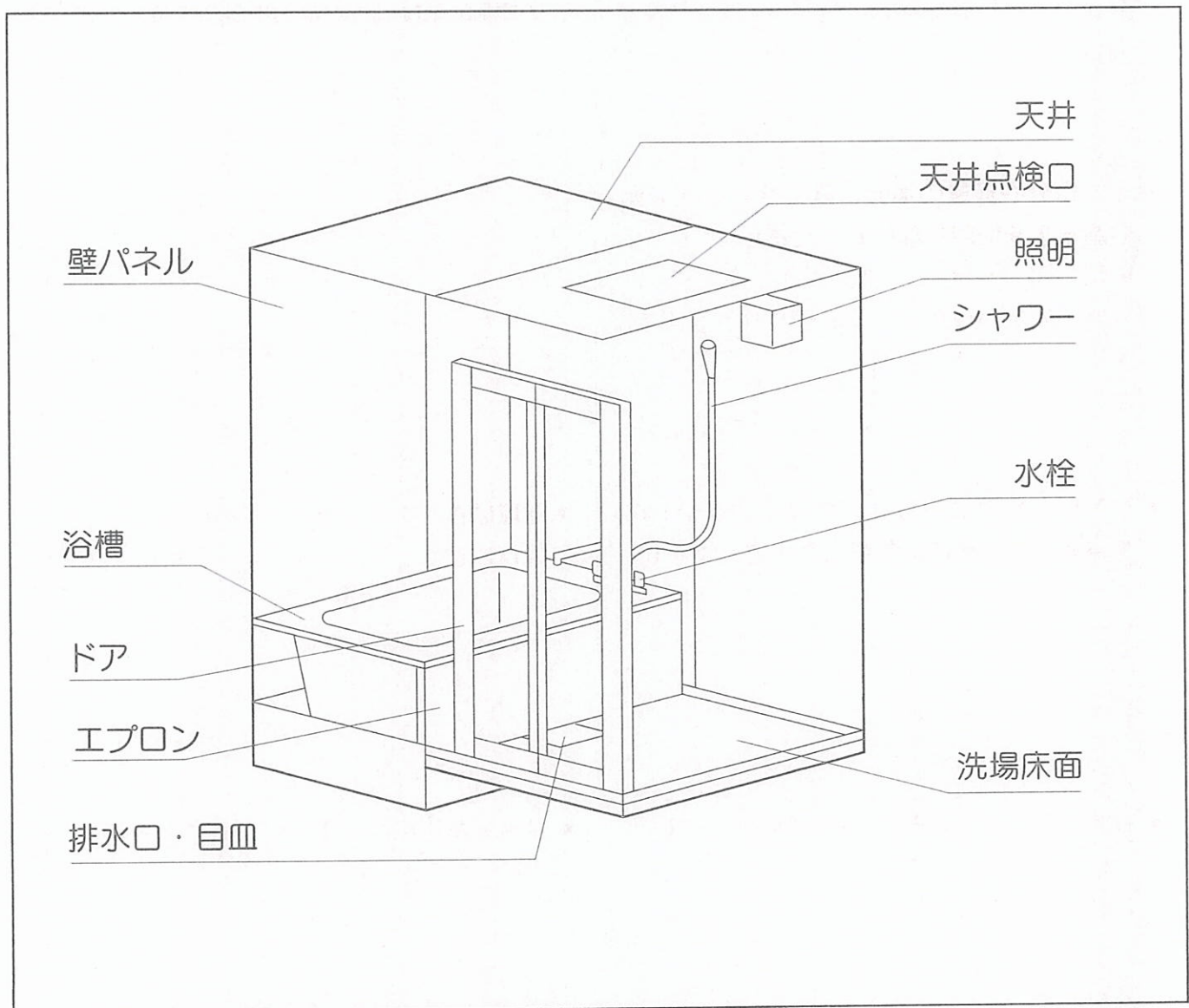
2.使用上のご注意

■ここに示した注意事項は、守らないと浴槽など浴室の部材に悪影響を与えるものですので、必ずお守りください。

- **沸かしすぎないでください。**
  沸かしすぎを繰り返すと、浴槽の寿命を短かくする原因になります。

- **追いだきする場合は、上部循環口の上端から10cm以上のところまで水を入れてください。**
  水量不足の場合空だきになるおそれがあります。

- **浴槽や壁パネルなどに無理な力をかけたり硬いものを落としたり、こすったりしないでください。**
  傷がついたり破損する場合があります。

- **スプレー式殺虫剤や化粧品、特にマニュキア除光液、毛染め液、カラーリンス、ジェル系クレンジング剤などをミラー枠・収納部の樹脂に付着させないようご注意ください。**
  もし、付着したときは、すぐに水で洗い流してください。表面の光沢を損ねたり、損傷するおそれがあります。

- **イオウ分や多量の塩分、鉄分を含む入浴剤や温泉水を使用しないでください。**
  配管部等を傷め水もれの原因になったり、浴槽の寿命が短かくなるおそれがあります。

- **ヘアピンやカミソリなどのサビやすいものを浴室及び浴槽内に放置しないでください。**
  もらいサビが発生し、とれなくなることがあります。

- **電球は指定のものを、ご使用ください。**
  電球は器具に表示されている指定のワット数（60W形）と形状のものをご使用ください。ワット数や形状が大きいと火災の原因になることがあります。

- **浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用しないでください。**
  浴槽が変色したり、光沢がなくなることがあります。

- **風呂水浄化剤を使用しないでください。**
  浴槽が変色したり、光沢がなくなることがあります。

2.使用上のご注意（つづき）

●浴槽洗剤（中性洗剤も含む）やカビ取り剤を浴槽に塗布したまま放置しないでください。 浴槽が変色したり光沢がなくなる恐れがあります。	●浴槽で毛布や浴槽用備品（椅子、洗い桶等）を浸け洗いしないでください。 洗剤によって浴槽が変色したり光沢がなくなることがあります。

3.各部の名称

この図はシステムバスの組み合わせの一例です。システムバスは機種によって組み合わせ（各部の仕様）が異なりますので、予めご了承ください。

4.使用方法

■初めてご使用になる前に

- 初めてご使用になる前に、給湯・追いだきをし、その後浴槽内外をよくお掃除し、配管等に残っていた鉄粉や砂などを洗い流してください。
  清掃せずにご使用になりますと、もらいサビや傷の原因になる場合があります

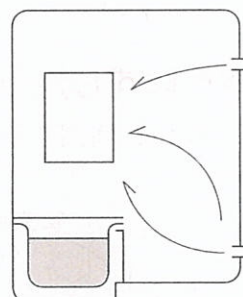
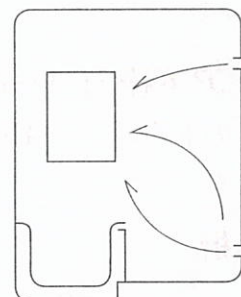
■水栓の使用方法

※水栓の取扱説明書をご覧ください。

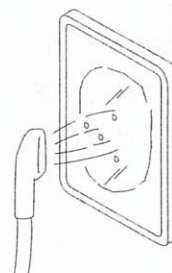
■浴室の換気について

- 窓を開けて湿気がとれるまで換気してください。

  浴槽に湯が入っている場合には風呂ふたをして換気してください。

  結露がひどい場合にはタオル等で天井、壁パネル等の水分をふきとってください。

ご注意：浴室内を蒸気のこもったまま放置しておきますと悪臭やカビの原因になります。

■ミラーについて

- 浴室内の湿気によりくもる場合があります
  (特に冬季やシャワー使用後等)
  くもった場合には、ミラー表面にシャワー等で湯をしばらくかけ、くもりを取り除いてご使用ください。(くもりが取れにくい場合には、中性洗剤又は、シャンプー等を含んだタオルでミラー表面をふいてください)

■ドアの施錠、解錠について

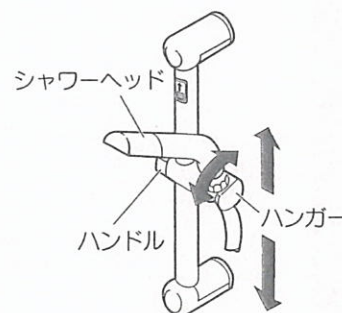
■ドア下枠カバーの取りはずし方

ドア下枠カバーは取りはずして清掃できます。取付時は図と逆の手順で交換してください。

折戸

①折戸を全開にした状態で下枠カバー(長)を斜め上に引き上げてはずしてください。
②下枠カバー(短)をスライドしてから斜め上に引き上げてはずしてください。

■スライドバーの使用方法

- 高さ調整
  ハンドルをゆるめ、ハンガーを希望の位置までスライドさせ、ハンドルを締め付けて固定してください。
- 角度調整
  ハンガーは前後に動きますので、シャワーヘッドを掛けた状態で角度調整をしてください。

5.お手入れ方法

いつまでも美しく、快適にご使用いただくためには日頃のお手入れが大切です。
尚、安全にお手入れをしていただくためにゴム手袋などの着用をおすすめします。

■日常のお手入れ

- 浴槽や床面の湯アカは乾いてからでは落ちにくくなり、カビ等の発生原因になりますので、入浴ごとに浴槽や壁パネルはやわらかい布で、洗い場床面はタワシ等で洗い流してください。
汚れが落ちにくい場合は中性洗剤をスポンジなどにつけて洗い、その後よく水洗いしてください。
毎日のお手入れと同時に週に一度くらい、浴室全体のお手入れを行ってください。

■お手入れ道具のまとめ

	使用してよいもの	使用すると損傷を与えるもの
洗場以外	●やわらかい布 ●スポンジ ●中性洗剤 中性	●タワシ・金属タワシ・クレンザー ●研磨材入りナイロンタワシ・磨き粉 ●ベンジン・アセトン・シンナー・アルコール ●塩酸・トイレ用洗剤・漂白剤 ●有機溶剤入りの洗剤・殺菌消毒剤 塩酸 アセトン シンナー ベンジン みがき粉
洗場床面	●やわらかい布、スポンジ ●タワシ・カビ取り剤 ●浴室用クレンザー ●中性洗剤	●金属タワシ ●ベンジン・アセトン・シンナー ●塩酸・トイレ用洗剤・漂白剤 ●有機溶剤入りの洗剤

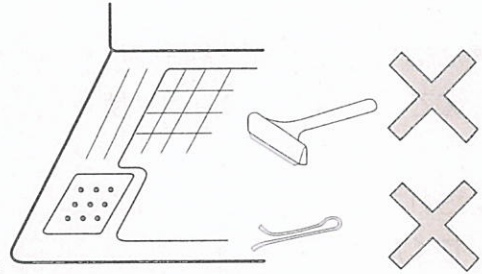
ご注意： 浴槽洗剤（中性洗剤も含む）やカビ取り剤をご使用になる場合は浴槽洗剤などの使用方法に従い使用し、すみやかに水洗いしてください。

お手入れ方法（つづき）

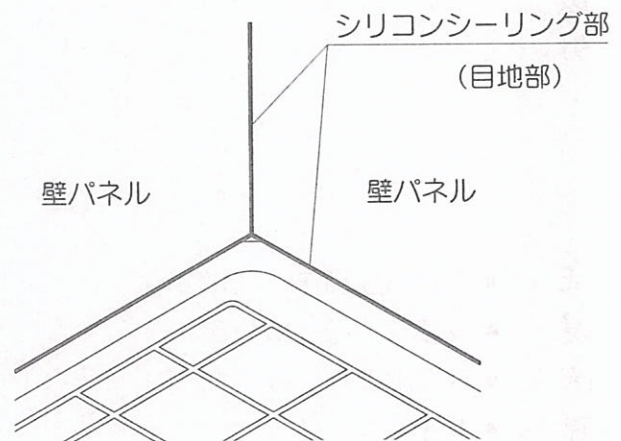
■もらいサビが発生した時のお手入れ

万一もらいサビが発生した時には、以下の要領で早めに取り除いてください。

●**洗い場床面**
ステンレス用クレンザーをスポンジにつけ軽くこすってサビを除き、その後きれいに水洗いしてください。強くこすると、傷がつく場合があります。

●**浴槽**
中性洗剤を布につけてとり除き、その後きれいに水洗いしてください。磨き粉などで強くこすると、変色するおそれがあります。

ご注意：ヘアピンやカミソリなどのサビやすいものを放置しておきますと、そのサビが付着してもらいサビが発生し広がりますので、サビ発生の原因になるものは放置しないでください。

■目地部分のお手入れ

●床、壁、天井の継目部分の目地部にはゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあります。特に汚れやすい目地部は中性洗剤でこまめにお手入れしてください。カビ発生後、長期間放置しておきますとカビが取れなくなることがあります。洗い場タイル目地にカビが発生した場合には、カビ取り剤もしくは浴室用クレンザーをつけ、タワシ等でカビ除去後よく水洗いしてください。

ご注意：壁、天井等のシリコンシーリング部(目地部)は防水上大切な役割をしていますので、強くこすったり、引っかいたり、はがしたりしないでください。万一はがれた場合には、その部分を乾いた布でよくふき取り、市販の浴室用シリコン系シーリング材(防カビタイプ)を指先で塗布してください。シーリング材が乾くまでは水に濡らさないように注意してください。

■排水トラップのお手入れ

●トラップに毛髪やゴミがたまると排水能力が低下し、床面に水があふれたり、悪臭の原因になりますので、次の手順でこまめにお手入れしてください。

①洗場パン目皿をはずします。

②浴槽パン目皿にたまっている毛髪やゴミなどを取り除きます。

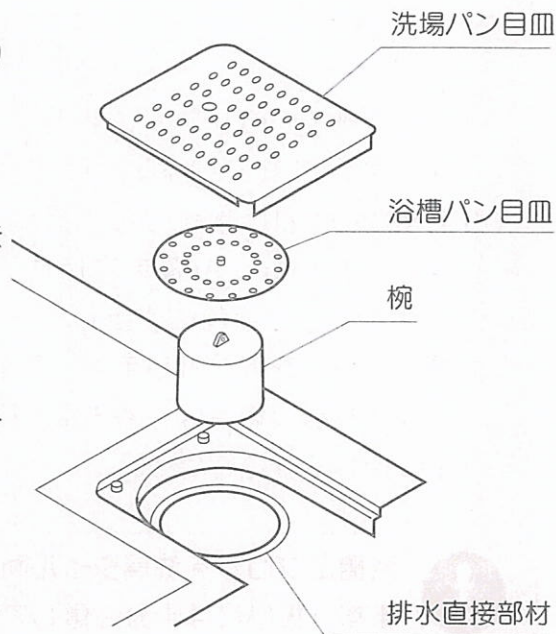
③浴槽パン目皿をはずします。

④椀周りにたまっている毛髪やゴミなどを取り除きます。

⑤椀を取り出し、椀の汚れを取り除きます。

⑥椀、浴槽パン目皿、洗場パン目皿を元通りにセットしてください。

⑦バケツ1杯くらいの水を流してください。

※出した毛髪やゴミは排水管に流さないでください。排水管詰まりの原因になります。

ご注意

排水口に強酸・強アルカリの薬品や殺虫剤、シンナー、アセトンなどの溶剤を流さないでください。排水接続部材や排水管が破損し、漏水するおそれがあります。

ご注意： 排水接続部材をゆるめると水漏れ事故につながりますので、絶対にゆるめないでください。

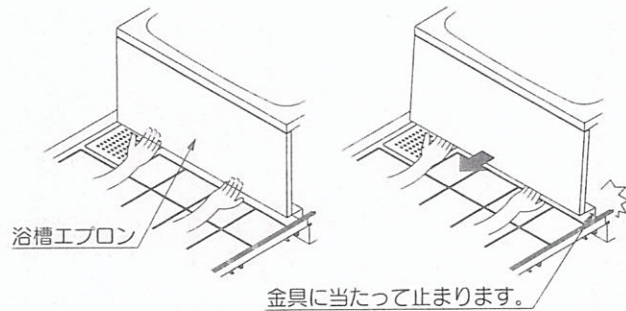
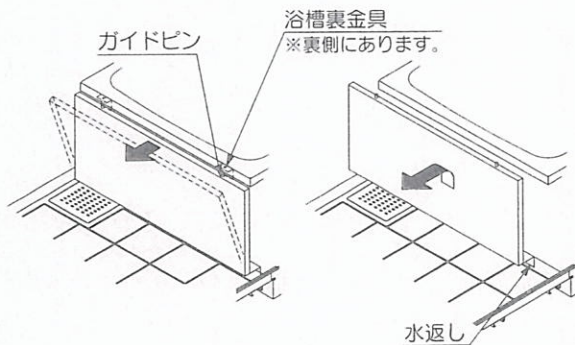
■水栓、オプション機器のお手入れ

●水栓、オプション機器のお手入れは、それぞれの商品に添付されている取扱説明書のお手入れ方法の項目をご覧いただき、行ってください。

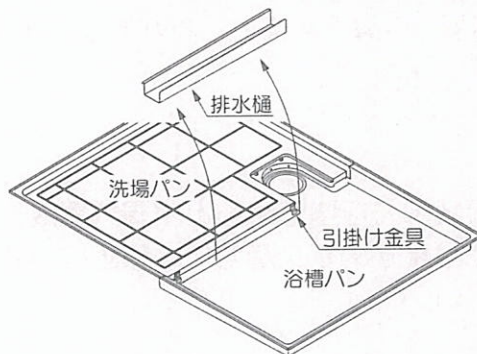
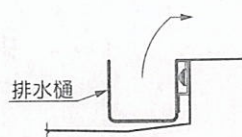
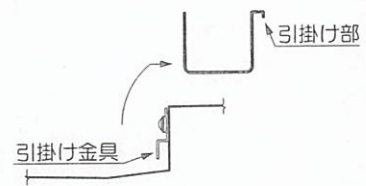
お手入れ方法(つづき)

■浴槽エプロン内部のお手入れ

1．浴槽エプロンの取り外し

①浴槽エプロン下側に手を入れ、上に押し当てながらエプロン下側を手前にゆっくり引き出します。

②次に、浴槽エプロンを下にゆっくり降ろすと浴槽エプロン上側のガイドピンが浴槽から外れ、手前に倒れます。水返しが当たらない位置まで持ち上げて、ゆっくりと手前に引出しながら、浴槽エプロンを取り外します。ガイドピンが外れない場合は、浴槽エプロンを下に押し下げてください。

浴槽エプロンを洗場タイル面等にぶつけると、キズやダコンがつくおそれがあります。扱いには十分注意してください。

2．排水樋の取り外し

①浴槽エプロンを外した後、引掛け金具に引掛けてある排水樋を取り外します。

②外した排水樋をスポンジに浴室用中性洗剤を付けて、こすり洗いしてください。
汚れが落ちにくい場合、クリームクレンザーを使用してください。

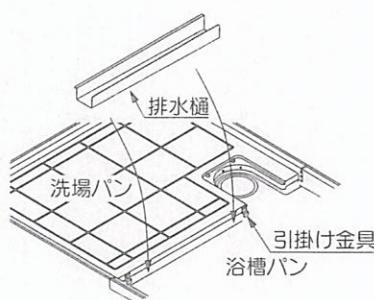
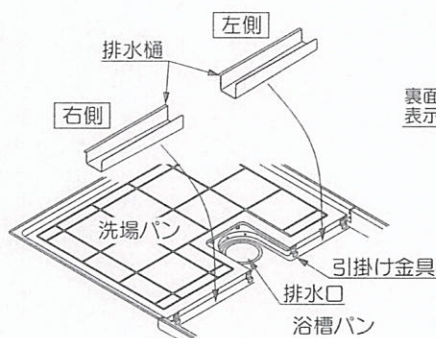
③浴槽パンは、柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけて、やさしく洗い流してください。

排水樋は、ステンレス薄板製です。お手入れの際は、ゴム手袋を必ず着用し、手を切らないよう十分注意してください。

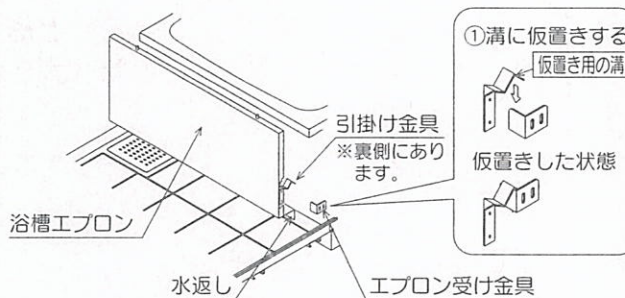
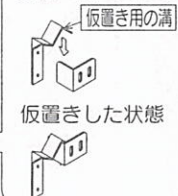
お手入れ方法（つづき）

3．排水樋の取り付け

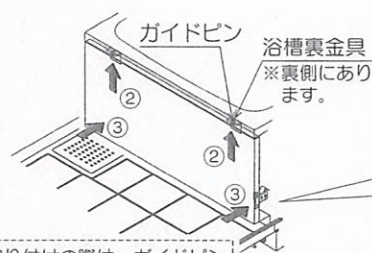
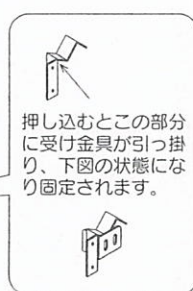
①排水樋を引掛け金具に引掛けます。

②引掛けた後、壁面との隙間がなるべくなくなるよう、排水樋を壁側に押し付けてください。

※排水樋が排水口の両側にある場合は、排水樋の側面に「左」「右」の表示があります。右図のように浴槽に向かって右側に「右」と表示の排水樋を、左側に「左」と表示の排水樋を取り付けてください。

排水樋は、ステンレス薄板製です。お手入れの際は、ゴム手袋を必ず着用し、手を切らないよう十分注意してください。

4．浴槽エプロンの取り付け

①浴槽エプロンの水返しを洗場にこすらないように注意しながら、浴槽エプロン裏面にある引掛け金具を壁パネルにあるエプロン受け金具に仮置きします。
※金具はエプロンの両側にあります。

浴槽エプロンを洗場タイル面等にぶつけると、キズやダコンがつく恐れがあります。扱いには十分注意してください。

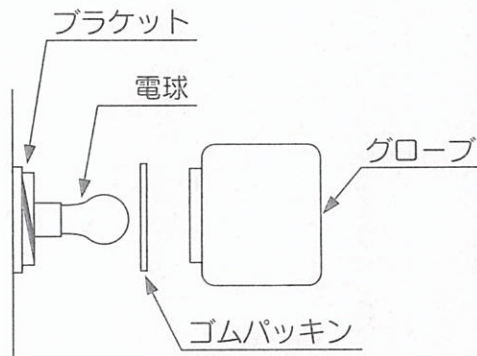
②ガイドピンが浴槽裏金具の穴に挿し込まれるように位置を合わせながら、浴槽エプロンを下から持ち上げます。

③浴槽エプロンを持ち上げたまま、浴槽エプロンの両端（受け金具の辺り）を押し込みます。

お手入れ方法（つづき）

■浴室灯の交換方法

● 浴室灯の交換は次の手順で行ってください。

①電源スイッチを必ず切ってください。
（濡れた手での交換作業は絶対に行わないでください。）

②グローブをはずしてください。

③電球を交換してください。

ご注意：電球は器具に表示されている指定のワット数（60W形）と形状のものをご使用ください。ワット数や形状が大きいと火災の原因になることがあります。

④逆の手順でグローブをパッキンがついているのを確かめゆるみのないよう、しっかりと取り付けてください。

ご注意： パッキンを入れ忘れたり、取り付けがゆるいと防湿機能がなくなり、漏電などの事故につながり危険です。

6.故障かなと思ったら

修理・サービスをお申し付けになる前に、次の点をお調べください。

現　　象	お調べいただくところ
スイッチを入れても照明が点灯しない。	●電球が切れていませんか。
	●ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。
浴槽の水が減る。	●排水栓がきちんとしめられていますか。
洗い場の排水が遅い。	●排水口の中に何か詰まっていませんか。

※水栓・その他オプション機器の取扱説明書もご確認ください。
以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは販売店にご連絡ください。

7.アフターサービス

タカラシステムバスのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

（1）製品名　　システムバス　広ろ美ろ浴室
（2）購入年月
（3）故障・異常の内容
（4）ご住所・ご氏名・電話番号・道順

修理のご依頼および消耗部品のご注文は
下記の『修理受付フリーダイヤル』へ
0120-557-910
受付時間　9:00〜18:00
（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）
タカラスタンダード株式会社

保 証 書

お客様	お名前　　　　　　　　　　　　　　　　様
	〒 ご住所
	TEL　（　　　）
販売店	㊞
	TEL　（　　　）
お買上日	年　　月　　日

見本

品　名	システムバス
保証期間	お買上日から 本体　：２年間 防水性能　：５年間 浴槽の貯水機能：５年間 付属品　：１年間

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又は修理受付フリーダイヤルへ出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又は修理受付フリーダイヤルへご相談ください。
3．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　（イ）一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷。
　（ロ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
　（ハ）空焚きした場合の損傷。
　（ニ）浴室用以外の洗剤・薬品を使用した場合や、浴室用洗剤の使用方法に従わずに浴室用洗剤を使用した場合の損傷
　（ホ）鉄分などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷。
　（ヘ）メーカーが定める設置説明書などに基づかない設置、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合。
　（ト）建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象。
　（チ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
　（リ）ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。
　（ヌ）火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異、又は戦争・暴動など破壊行為に起因する不具合。
　（ル）消耗部品の消耗に起因する不具合。
　（ヲ）硫黄やアルカリ分、鉄分、塩分を含む入浴剤、温泉、井戸水などの水質による汚れの付着、損傷。
　（ワ）凍結した場合の損傷。
　（カ）異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
　（ヨ）本書の提示がない場合。
　（タ）本書にお客様、販売店名、お買上日の記入のない場合、又は字句を書き替えられた場合。
　（レ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は修理受付フリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目2番1号
TEL ０６－６９６２－１５３１

213672
2B-5